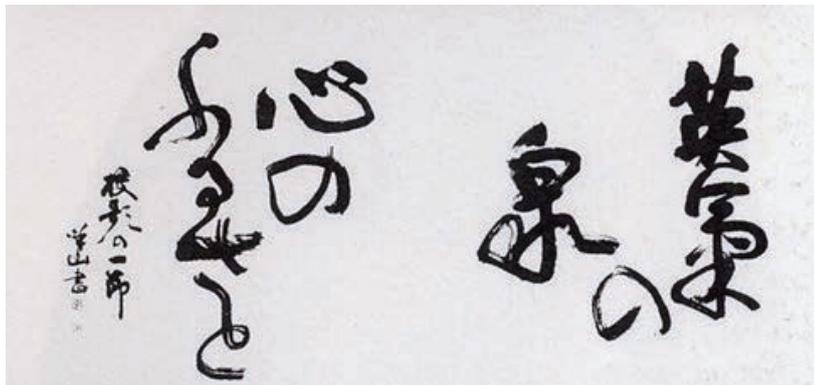


中村

発行 中村会（愛知県立中村高等学校同窓会）



「鬼は外 福は内」

令和4・5年度 中村会会長 木村 一郎



2020年に発生した新型コロナウイルス感染症もその扱いが2類から5類に移行され、今年はAfterコロナの年になりそうです。しかしながら油断は大敵。気を緩めることなく注意していきたいと思えます。

2023年3月、侍ジャパンがWBCで優勝しました。これを皮切りに、バスケットボール男子日本代表、バレーボール男子日本代表龍神 NIPPON がバリ五輪の出場権を得ました。野球もバスケットボールもバレーボールもともに激闘の末の結果でした。陸上競技女子やり投げでは、北口榛花選手が最後の一投で世界選手権を制しました。最後まであきらめず自分や仲間を信じて夢を実現したことは、私たちに大いに生きる力を与えてくれたと思えます。

そんな流れで新しい年を迎えたところで、正月1日の石川県を襲った大きな地震、その翌日、石川県の被災地に救援物資を運ぼうとしていた海上保安庁機と JAL 機の衝突事故が発生しました。地震の被災者の方たちは、国や自治体の支援を頼らず、隣近所の人たちが協力して、水や食べ物を持ち寄って災害と向き合っている、地域の人たちが協力してこの苦難を乗り越えようとしている姿がとても印象に残っています。

さて、この会報がお手元に届くころには、すでに節分は過ぎていることと思います。節分は、江戸時代以降は特に立春の前日を指すようになったようです。「鬼は外、福は内」と言いながら豆を撒き邪気払いをしたいと思います。「鬼は外」とは語呂合わせで、「遠仁者疎道」「福は内」とは「不苦者有智」。仁に遠きもの（思いやりのない人）はその道に疎く、苦勞を知り、努力する人は本当の智恵を得ることができる、という意味があるようです。これから毎年節分を迎えたときは、この意味を理解し、大きな声で邪気を払っていこうと思えます。

中村会会員の皆様には今後も母校に対するご支援、中村会そのものの運営へのご協力をお願いして会報の冒頭の挨拶とさせていただきます。

「中村」第21号に 寄せて

愛知県立中村高等学校長 山口 哲



中村会のみなさまには日ごろより母校の教育活動に対して多大な御支援をいただきありがとうございます、誠にありがとうございます。

昨年度中村高校は創立70周年を迎え、記念行事を行いました。今年度はそこまで大きなトピックはありませんが、強いて挙げればコロナ禍が大体治まり、行事等がほぼ通常通りに行えるようになった点であることが、うれしい反面、ここまでを思うと複雑な心境でもあります。

特に、令和元年度に設置した国際理解コースでは、その年度末からのコロナ禍のため、国際理解教育にとって重要な外部との交流活動が思うように行えずにいました。しかし徐々に再開することができ、今年度は5日間のベトナム研修も、本来の1年生に加え2年生も含めて実施することができました。きっと、日本ではできない貴重な経験を、視野を広げてきてくれたものと思います。12月の実施だったため、受験を間近に控えた3年生は参加させることができなかったことが残念です。

昨年度、愛知県教育委員会は学校の特色化のため全県立高等学校にスクール・ミッションを制定しました。中村高校のスクール・ミッションは「自ら学び、深く考え、主体的に行動する力と、国際的な視野を備えた生徒の育成を目指す学校」「正義を重んじ、自らを律する人間性を備え、国際社会の発展に寄与しようとする生徒の育成を目指す学校」です。従来から力を入れてきた学校全体での国際理解教育に加えて、国際理解コースの活動を一層充実させ、国際化が進む社会の中で活躍できる人材の育成に努めていきたいと思えます。

今年度7月より校舎第2棟の内外装改修工事が始まり、令和6年11月には第2棟全体がきれいになります。第1棟は既に同様の工事が完了していますので、県道200号名古屋甚目寺線側からは、きれいになった校舎を見ることができます。近くにお越しの際は一目御覧いただけたらと思います。

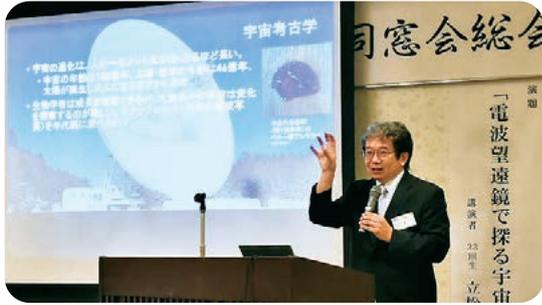
末筆にはなりますが、卒業生のみなさまには今後も中村高校を見守り、応援していただきますよう、心よりお願いいたします。

令和5年度

中村会総会・講演会・懇親会が開催されました

令和5年5月21日(日) 10時より、中村会総会・講演会・懇親会がルプラ王山にて開催されました。今年度は久しぶりに懇親会まで開催することができました。総会では、令和4年度決算報告、令和5年度予算案などの承認が行われました。また、創立70周年記念事業の実施報告も行われました。

総会に続いて、講演会が開催され、23回生で国立天文台野辺山観測所所長の立松健一氏にお話をいただきました。



「電波望遠鏡で探る宇宙の謎」と題して、直径45メートル、重さ700トンの巨大な望遠鏡がキャッチする宇宙からの微弱的な電波から、宇宙や星の成り立ちなどを解析できることを教えていただきました。また、ご自身が携われた研究のうち、恒星の重さに関する研究と連星(双子の星)の形成に関



会長挨拶



総会の様子

するお話をしていただきました。宇宙というスケールの大きなお話と、美しい八ヶ岳の写真で、心を奪われるひと時を過ごすことができました。

コロナ禍で中止が続いていましたが、今年度は久しぶりにお酒も入った懇親会を開催することができました。26回生高木さんによるオークション、相撲や野球グッズなどがよく売れ、過去最高売り上げの82,524円を「英気の泉」に寄付しました。

講演者である立松健一氏の同期生である23回生の方の参加が多くあり、久しぶりの再会を楽しむ輪があちこちでできた楽しい会となりました。

最後に恒例の校歌を歌い、会を閉じました。



令和5年5月21日、同窓会総会でのインタビュー

68回生 (新卒) 石川県で学生をしているが、山口先生の呼びかけで帰省したついでに参加した。同級生がいないのが残念。

以下、立松さんの講演について。

23回生 話が上手で、知らない話だったが、わかりやすく話された。

67回生 難しい話ではあったが、例え話がわかりやすかった。(お相撲さんの話)

13回生 難しかったです。

23回生 あんな立派な方が同級生にいたとは！ 学生の時と変わらず少年のようだった。講師の方は高校の時は天文部だった。好きなことを追いかけて、ロマンを感じる。

68回生 気象学を勉強中。未来塾でやると聞いて、1年早く卒業しちゃったと思ったが、ここで聞けて良かった。

2回生 難しかった

18回生 興味があったので、もっと聞きたかった。

関東支部報告

中村会関東支部は4年ぶりに10回目の懇親会を8月5日(土)に開催しました。

会場は「新莊園ムスブ田町店」で、想定より多くの方に参加いただけただので、個室に入りきらず、店舗の一角を懇親会で占める形となりました。猛暑の中、初参加3名の方と山口哲学校長と太田守彦副会長にもご参加いただき、22名の参加者で大いに盛り上がり、あっという間の2時間半でした。

来年も是非開催したいと思いますので、皆様のご参加をお待ちしております。

中村会関東支部 支部長 浜田和久
幹事長 大西真吾



クラス会報告

52年ぶりの1年生

昨年の11月に私たち1年次のクラス会を催しました。6年前に行いました19回生同期会に1年次のクラス担任、小島先生も出席を予定されていましたが、急遽欠席の連絡を頂きました。即座に「残念ですね。来年にクラス会を開きますよ」と返答しました。ところがコロナ禍による外出自粛となり、やっと行動制限が緩和された昨年に開催することができました。私たちのころ、1クラスは45人でした。今回21人が集まりました。会場ではお互いを確かめ合うことから始まり、一人一人の顔には68年の人生が醸し出されていますが、分け隔てなく1年時の絆に戻れたと思うのは私だけでしょうか。会食は大袈裟に騒ぐこともなく進み、宴もたけなわになったところで、一人2分のスピーチをお願いしました。年金生活を送りながら趣味に没頭している者や、女性陣では海外でボランティア活動している、民生委員として地域に貢献しているという方々の言葉がありました。この先の人生を考え直す機会ですね。楽しいひと時も終宴を迎えたところ、再開という声が随所から聞こえてきました。恩師の小島先生も快諾され、その言葉を耳の奥に残しながら帰路に就きました。



19回生1年次2組 服部保弘

「還暦スペシャル中村209大クラス会」に御参加いただき、誠にありがとうございました。午前中の母校訪問に始まり、続いて名駅のレストラン貸切で昼食をしながらの1次会、場所をカラオケルームに移しての2次会と、気付けば朝10時半から夜の8時までの長丁場、でも楽しい時間はあっという間に過ぎてしまいました。若い若いと言っても、さすがに疲れましたねえ。それから「209天才クイズ」は難問に悪戦苦闘されていましたが、昔話で大盛り上がりしました。あの天才クイズの帽子はクラス会ではマストアイテムになりそうですから、次回もクイズを考えておかないと……。誰かの言葉をお借りするならば、これからも「生存確認」のための楽しいクラス会としたいので、皆さんが気軽に集まれる場を、今後も提供したいと思います。と、次回幹事さんにも伝えておきますよ(笑)。

27回生209 幹事



母校だより

「わが精鋭の中村健児」はどんな活躍を見せてくれているか、先輩としては興味津々！ 母校の現在の活躍を紹介

部活動等表彰

【陸上競技部】

- ◆第38回名古屋市内愛知県立高等学校体育大会
駅伝競技大会
・女子の部 6位
- ◆第77回愛知県高等学校総合体育大会 名南支部予選会
・女子400m ハードル 7位
- ◆令和5年度名古屋南北支部学年別陸上競技大会
・男子1年砲丸投 5位
・女子ジュニア800m 5位
・女子ジュニア800m 6位
- ◆令和5年度愛知県高等学校新人陸上競技大会
名南支部予選会
・男子やり投げ 6位

【体操競技部】

- ◆第77回愛知県高等学校総合体育大会 名南支部予選会
・男子団体総合 2位
・女子2部団体総合 2位
・女子2部個人総合 4位、5位
- ◆第77回愛知県高等学校総合体育大会 県大会
・女子2部チーム選手権 4位
・男子チーム選手権 6位
- ◆令和5年度愛知県体操競技選手権
・少年2部女子 6位
- ◆令和5年度 愛知県高等学校新人体育大会
名古屋南支部予選会
・女子個人総合 3位
・女子団体総合 2位
・男子団体総合 2位
- ◆令和5年度愛知県高等学校
名北・名南・知多・三河支部 体操競技 学年別大会
・2年生男子の部 種目別吊り輪 優勝
・2年生女子の部 2位

【卓球部】

- ◆令和5年度愛知県高等学校総合体育大会
名南支部予選会
・男子ダブルス 3位
- ◆令和5年度名古屋南支部 高等学校卓球選手権大会
・女子ダブルス 優勝
・女子シングルス 準優勝
・女子学校対抗 3位

【弓道部】

- ◆第44回名古屋市内愛知県立高等学校体育大会
・男子の部 4位
- ◆令和5年度名古屋南支部高等学校 弓道選手権大会
・女子個人の部 準優勝
・女子団体の部 3位

【水泳部】

- ◆第77回愛知県高等学校総合体育大会
名南支部予選会
・男子400m 個人メドレー 4位
・男子200m 個人メドレー 5位
・男子総合 8位
- ◆第44回名古屋市内愛知県立高等学校体育大会
水泳競技大会
・男子200m 平泳ぎ 2位
・男子100m 自由形 3位
・男子団体総合 5位
・女子団体総合 5位
- ◆第60回名古屋地区高等学校 水泳競技大会
・男子100m 自由形 7位
・女子200m 平泳ぎ 6位
- ◆令和5年度愛知県高等学校新人体育大会
名古屋地区予選会
・女子200m 平泳ぎ 7位

【サッカー部】

- ◆第102回全国高校サッカー選手権大会
名古屋地区予選会・県大会
・ブロック優勝、県大会ベスト32
- ◆高宮杯 JFA・U-18サッカーリーグ
名古屋地区1部
・3位 (県4部リーグ昇格)
- ◆第102回全国高校サッカー選手権大会 愛知県大会
名古屋支部予選会
・優勝

【ラグビー部】

- ◆令和5年度愛知県高等学校新人体育大会
ラグビーフットボール競技 名南知多支部予選会
・3位

【ソフトテニス部】

- ◆令和5年度 名南支部 1年生ソフトテニス大会
・女子の部 3位

【書道部】

- ◆第27回全日本高等学校書道コンクール
・全日本高等学校書道教育研究会賞

【演劇部】

- ◆令和4年度名古屋第四地区合同発表会
・講評委員会特別賞、アイデア賞

【JRC部】

- ◆日本赤十字社 銀色有功章

【国際理解コース】

- ◆第70回国際理解・国際協力のための高校生主張コンクール
・特賞「公益財団法人日本国際連合協会会長賞」

ホームページ リニューアル!

創立70周年記念事業のひとつとして同窓会の支援によって中村高校のホームページがリニューアルしました。ぜひアクセスしてみてください。

<https://aichi-nakamura.jp/>



卒業生中村職員紹介 — 部活動指導員* として活躍中のOBにインタビュー

65回生 ^{いたずだいき}板頭大輝 先生 (岐阜聖徳学園大学教育学部4年)

—どんな高校生活でしたか？

サッカー部がきちんと活動している高校を第一に考えて受験したので、入学後はサッカー中心でした。教員になりましたので、勉強も頑張っていました。

—中村での一番の思い出は何ですか？

最後の試合で、途中同点に追いついたゴールです。あの一体感は忘れられません。負けてしまったのですが、試合後に涙が止まらなかったです。

—卒業後、部活動指導員として母校と関わる中で感じたことは何ですか？

自分が高校生の時は、頑張ることが照れ臭いと思っていましたが、今の部員たちは一生懸命です。県大会で勝ち結果もついてきているので、すごいと思います。

4年間、生徒ではなく指導者として母校で多くのことを学ばせてもらいました。特に謙虚な気持ちを持ってプレーすることの大切さを実感しました。自分も高校時代こんな風にプ

レーしていたらもっとよい選手になっていたのかな……と思うこともあります(笑)

—最後に

サッカー部は新年にOBが集まり「初蹴り」をします。年上のOB方ともお話しさせていただき、歴史を感じます。中村高校を通してつながっていることを実感できる機会です。

4年間横手先生をはじめとした顧問の先生方、本当にありがとうございました。4月からは小学校の教員として勤務しますが、中村で学んだことを忘れず、精進していきたいです。



* 部活動指導員 愛知県教育委員会が部活動指導に関わる教職員負担の軽減のため運動部、文化部の指導者を学校外から招くもの。

令和4年度事業報告

◆令和4年度 中村会 役員

会 長	木村 一郎 (18回生)
副 会 長	太田 守彦 (22回生 財務担当)
	高木 靖之 (26回生 総務担当)
	加藤 伸夫 (26回生 広報担当)
事務局長	山口有里子 (36回生)
会 計	門口 賢司 (27回生)
監 査	水野 圭爾 (26回生)
	杉嶋 重男 (26回生)

◆令和4年度 中村会 事業報告

- 1 総会及び講演会の開催
- 2 会報の発行 (第20号)
- 3 HP の運営とその効率化の実施
- 4 役員会の開催
- 5 『英気の泉』基金の募集・運用
- 6 教養講座「中村未来塾」への協力
- 7 PTA との連携事業の推進
- 8 縦のつながりの増強活動
- 9 常任幹事の増強
- 10 関東支部の支部総会の実施 (中止となりました)
- 11 運営業務の効率化
- 12 70周年記念事業の準備・実施

令和4年度 中村会 決算報告

収入の部 (単位：円)

科 目	予算額①	執行額②	差額②-①	備 考
前年度繰越金	4,127,930	4,127,930	0	
入 会 金	1,565,000	1,520,000	-45,000	第67回卒業生304名×5,000円
雑 収 入	70	0	-70	
計	5,693,000	5,647,930	-45,070	

支出の部 (単位：円)

科 目	予算額④	執行額⑤	差額④-⑤	備考
事 業 費	100,000	20,000	80,000	総会後の講演会講師謝礼
HP 運 営 費	100,000	10,384	89,616	ASAHIネット昨年度3月分、HP改訂作業
通 信 費	20,000	5,478	14,522	料金後納
会 報 費	900,000	862,535	37,465	会報20号印刷・発送・はがき印刷・諸作業
総会施設費	100,000	96,850	3,150	総会会場代
名簿管理費	100,000	55,000	45,000	データ管理、データ出力
諸 雑 費	10,000	2,530	7,470	振込手数料
慶 弔 費	40,000	0	40,000	
会 議 費	10,000	4,427	5,573	会議飲料代等
予 備 費	100,000	0	100,000	
70周年記念事業費	2,000,000	2,000,000	0	本年度のみの支出
繰 越 金	2,213,000	0	2,213,000	
計	5,693,000	3,057,204	2,635,796	

残高の部 (単位：円)

収入額計	支出額計	次年度繰越金
5,647,930	3,057,204	2,590,726

令和5年度事業計画

◆令和5年度 中村会 役員

会 長	木村 一郎 (18回生)
副 会 長	太田 守彦 (22回生 財務担当)
	高木 靖之 (26回生 総務担当)
	加藤 伸夫 (26回生 広報担当)
事務局長	山口有里子 (36回生)
会 計	門口 賢司 (27回生)
監 査	水野 圭爾 (26回生)
	杉嶋 重男 (26回生)

◆令和5年度 中村会 事業計画

- 1 総会及び講演会の開催
- 2 会報の発行 (第21号)
- 3 HP の運営とその効率化の実施
- 4 役員会の開催
- 5 『英気の泉』基金の募集・運用
- 6 教養講座「中村未来塾」への協力
- 7 PTA との連携事業の推進
- 8 縦のつながりの増強活動
- 9 常任幹事の増強
- 10 関東支部の支部総会の実施
- 11 運営業務の効率化
- 12 『英気の泉』の法人化準備

令和5年度 中村会 予算

収入の部 (単位：円)

科 目	予算額	備 考
前年度繰越金	2,590,726	
入 会 金	1,540,000	5,000円×308名 (R5年度 第3学年69回生 4月時在籍数)
雑 収 入	74	
計	4,130,800	

支出の部 (単位：円)

科 目	予算額	備 考
事 業 費	100,000	奨学金
HP 運 営 費	100,000	CMSライセンス料、HP更新依頼料金等
通 信 費	20,000	料金後納郵送費等
会 報 費	900,000	会報21号印刷、発送関連費 (発送費・封筒・ハガキ作成・諸作業等)
総会施設費	100,000	総会会場使用料
名簿管理費	100,000	SALATO メンテナンス契約料 (55,000円) 等
諸 雑 費	10,000	振込手数料
慶 弔 費	40,000	
会 議 費	10,000	役員会
予 備 費	100,000	
繰 越 金	2,650,800	
計	4,130,800	

同窓生紹介



60周年記念講演会で落語を披露していただいた39回生、立川わんださん。総会にいらっしゃった折、お話を伺いました。真打ちに昇進するのに、落語を百席覚えることが必要で、12～15年かかるそうです。ご本人にいただいたプロフィールを紹介します。

立川わんださんプロフィール

1976年 愛知県名古屋市に生まれる
中村高校・名城大学卒業
2001年8月 快樂亭ブラックに入門
2005年8月 快樂亭ブラックの立川流脱退に伴い、立川談四楼門下に移る
2010年2月 ニツ目に昇進
2019年10月 真打昇進
古典落語・新作落語ともに演じる
SFが好きで、日本SF作家クラブにも所属している
毎月開催の独演会の他、各地での落語会・イベント等で活躍中

令和6年4月27日(土)のお昼に、大須演芸場で独演会をします。
お時間ございましたら、是非お越しください。

■賛助会費納入のお願い

●賛助会費 入金先

郵便振替 00850-6-185948

中村高校同窓会 賛助会費

※振込手数料はご負担ください。

賛助会費とは、同窓会の活動を支える大事な収入源です。同窓生の皆さんに毎年2,000円または終身50,000円の会費納入をお願いしています。

本会報同封の2種類の振込用紙(郵便局に加えてコンビニでの納入も可能になりました)をご利用頂き、上記の口座へ納入をお願いいたします。

●賛助会費収支状況(令和4年度決算)

前年度繰越金	当年度収入	当年度支出	次年度繰越金
3,422,830	10,518,150	80,580	13,860,400

■同窓生で氏名・住所変更された方は事務局までご連絡ください。

事務局

TEL: 052-411-7760 (中村高校)

FAX: 052-413-5357 (中村高校)

E-mail: Web ページからご連絡ください。

■会報の発送について

会報は年1回、2月末に発行しており、賛助会費納入者および卒業回生の下一ケタを基準に5年に1度のサイクルで全卒業生の皆様に発送しています。今号は下一ケタが「4」「9」の回生が対象で、次号は「5」「0」の回生が対象となります。中村会ホームページでは毎号掲載しておりますので、ぜひご活用ください。

■母校支援基金「英気の泉」への募金のお願い

●英気の泉 募金入金先

三菱UFJ銀行柳橋支店 普通4709739

英気の泉 萩原義昭

※振込手数料はご負担ください。

母校支援基金「英気の泉」は、中村高校の在校生の諸活動に対する同窓会からの資金援助を行うための基金で、校歌の一節をとり、在校生の英気を資金面から援助する「泉」となっています。

最近では、在校生の海外短期留学や部活動の遠征交通費支援、部活動器具・道具の修理・購入などを行っています。

ぜひ在学生のためにこの泉を枯らさないように皆様のご厚志をよろしくお願いいたします。

●「英気の泉」収支状況(令和4年度決算)

前年度繰越金	当年度収入	当年度支出	次年度繰越金
1,838,159	452,513	720,440	1,570,232

●令和4年度援助事業

吹奏楽部楽器購入、中村ダンスフェスティバル開催御祝、グローバルフロンティア研修費補助

●令和4年度寄付者等(敬称略)

岡田順一(元校長)、萩原義昭(10回生)、マツヤマサトシ、ミナトヤカオル、26回生同期会、匿名希望

■中村会ホームページ

<https://www.nakamurakai.jp/>

■中村会 facebook ページ

<https://www.facebook.com/nakamurakai.aichi/>